



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月22日

上場会社名 株式会社ディスコ 上場取引所 東
 コード番号 6146 URL <https://www.disco.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表執行役社長（氏名） 関家 一馬
 問合せ先責任者（役職名） IR室長（氏名） 木場 竜一郎 TEL 03-4590-1111
 半期報告書提出予定日 2026年10月29日 配当支払開始予定日 2026年12月1日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	257,058	32.1	116,639	47.9	114,437	44.0	80,366	43.7
2026年3月期中間期	194,537	8.7	78,871	3.8	79,465	5.9	55,913	4.6

（注）包括利益 2027年3月期中間期 81,271百万円（44.8%） 2026年3月期中間期 56,115百万円（2.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	740.84	738.72
2026年3月期中間期	515.70	514.07

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	824,584	629,013	76.1
2026年3月期	743,410	588,125	78.9

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 627,479百万円 2026年3月期 586,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	129.00	—	376.00	505.00
2027年3月期	—	186.00	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日（2026年10月22日）公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、現時点において期末の配当予想額は未定です。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期（累計）	389,500	28.2	174,700	38.4	173,400	37.1	121,900	31.6	1,123.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日（2026年10月22日）公表いたしました「業績予想のお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期中間期	108,523,429株	2026年3月期	108,478,029株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	16,004株	2026年3月期	16,004株
③ 期中平均株式数(中間期)	2027年3月期中間期	108,480,881株	2026年3月期中間期	108,420,961株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2026年10月22日に当社Webサイトにて公開する予定です。

<https://www.disco.co.jp/jp/ir/index.html>

(参 考)

2027年3月期の個別業績予想(2026年4月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	322,500	29.6	144,000	38.3	169,500	37.1	124,500	31.5	1,147.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

個別業績予想の修正については、本日(2026年10月22日)公表いたしました「業績予想のお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	4
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(中間連結損益及び包括利益計算書関係)	6

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（以下、当期）は、生成AIの需要拡大を背景にデータセンタ向け投資が継続し、先端ロジックやHBM（High Bandwidth Memory：高帯域幅メモリ）などの高性能半導体向け需要が高水準で推移しました。

このような市場環境のもと、精密加工装置の出荷は、高性能半導体向けの高付加価値製品を中心に好調に推移しました。また、消耗品である精密加工ツールの出荷も、顧客の設備稼働率等に連動して高水準で推移しました。

その結果、当期の出荷額は前年同期を大きく上回りました。

こうした環境のなか、機械装置の検収進捗などにより売上高は前年同期と比べて増加しました。

損益については、為替の影響と高付加価値製品の増加などによりG P率が上昇したことで、人件費や研究開発費など販売管理費の増加を吸収して増益となりました。

以上の結果、当期の業績は以下のとおりとなりました。

当期の事業実績（6ヶ月累計）

出荷額	2,845億84百万円(前年同期比 37.2%増)		
売上高	2,570億58百万円(前年同期比 32.1%増)		
営業利益	1,166億39百万円(前年同期比 47.9%増)	営業利益率	45.4%
経常利益	1,144億37百万円(前年同期比 44.0%増)	経常利益率	44.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	803億66百万円(前年同期比 43.7%増)	純利益率	31.3%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末(以下、当期末)の総資産は、前連結会計年度末(以下、前期末)と比べ811億73百万円増加し8,245億84百万円となりました。これは、主に現金及び預金を中心とした流動資産が増加したことによるものです。

負債は、前期末と比べ402億85百万円増加し1,955億70百万円となりました。これは、主に賞与引当金が減少した一方で、契約負債が増加したことによるものです。

純資産は、前期末と比べ408億88百万円増加し6,290億13百万円となり、自己資本比率は前期末から2.8ポイント減少の76.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,117億8百万円の収入となりました。(前年同期比 181.5%増)

これは、主に税金等調整前中間純利益や契約負債の増加によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、548億14百万円の支出となりました。(前年同期比 258.9%増)

これは、主に定期預金の増加、工場設備などの有形固定資産の取得による支出によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、406億17百万円の支出となりました。(前年同期比 30.0%増)

これは、主に配当金の支払によるものです。

これらの結果、当期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末から160億52百万円増加して2,006億27百万円となりました。また、「営業活動によるキャッシュ・フロー」と「投資活動によるキャッシュ・フロー」を合算した「フリー・キャッシュ・フロー」は、568億93百万円の資金増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社が事業展開している半導体・電子部品業界の市場環境と直近の業績動向等を踏まえて当社グループの業績予測を精査した結果、これまで未開示であった4－12月期の業績予想を開示いたします。

詳細につきましては、本日(2026年10月22日)公表いたしました「業績予想のお知らせ」をご参照ください。

なお、4－12月期の出荷額は、4,342億円と予想しております。(10－12月期の想定為替レートは1 USドル151円)

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	284,575	342,411
受取手形、売掛金及び契約資産	57,477	57,767
商品及び製品	39,022	47,766
仕掛品	43,107	43,383
原材料及び貯蔵品	59,196	69,669
その他	12,010	12,610
貸倒引当金	△817	△842
流動資産合計	494,572	572,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	101,636	99,593
土地	65,488	65,524
その他（純額）	56,115	61,807
有形固定資産合計	223,241	226,925
無形固定資産	250	268
投資その他の資産	25,346	24,622
固定資産合計	248,838	251,817
資産合計	743,410	824,584
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,053	11,571
電子記録債務	13,884	20,021
未払法人税等	22,523	31,814
契約負債	50,006	79,623
賞与引当金	44,229	32,578
その他の引当金	2,121	2,947
その他	12,638	16,019
流動負債合計	154,458	194,576
固定負債	826	994
負債合計	155,285	195,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,359	22,643
資本剰余金	24,348	24,631
利益剰余金	521,924	561,508
自己株式	△48	△48
株主資本合計	568,583	608,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	600	649
為替換算調整勘定	16,698	17,515
退職給付に係る調整累計額	692	579
その他の包括利益累計額合計	17,991	18,744
新株予約権	1,184	1,090
非支配株主持分	366	443
純資産合計	588,125	629,013
負債純資産合計	743,410	824,584

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	194,537	257,058
売上原価	60,527	73,141
売上総利益	134,009	183,917
販売費及び一般管理費	55,138	67,277
営業利益	78,871	116,639
営業外収益		
受取利息	47	846
持分法による投資利益	82	137
為替差益	21	—
受取賃貸料	200	213
助成金収入	574	9
その他	159	184
営業外収益合計	1,086	1,391
営業外費用		
為替差損	—	3,101
減価償却費	487	486
その他	4	6
営業外費用合計	492	3,594
経常利益	79,465	114,437
特別利益		
固定資産売却益	6	15
特別利益合計	6	15
特別損失		
固定資産除売却損	74	41
減損損失	—	※ 636
特別退職金	8	21
建物解体費用	817	—
特別損失合計	900	700
税金等調整前中間純利益	78,571	113,753
法人税、住民税及び事業税	15,742	31,940
法人税等調整額	6,863	1,331
法人税等合計	22,606	33,271
中間純利益	55,965	80,481
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	55,913	80,366
非支配株主に帰属する中間純利益	52	115
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	173	987
退職給付に係る調整額	9	△113
持分法適用会社に対する持分相当額	△33	△83
その他の包括利益合計	149	790
中間包括利益	56,115	81,271
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	56,047	81,119
非支配株主に係る中間包括利益	67	152

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	78,571	113,753
減価償却費	6,990	7,809
減損損失	—	636
建物解体費用	817	—
持分法による投資損益 (△は益)	△82	△137
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	23	35
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,181	△11,644
有形固定資産除売却損益 (△は益)	67	25
助成金収入	△574	△9
受取利息及び受取配当金	△47	△846
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,402	△496
棚卸資産の増減額 (△は増加)	759	△19,496
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,138	9,011
契約負債の増減額 (△は減少)	10,384	29,872
その他	10,109	5,653
小計	70,297	134,167
助成金の受取額	640	9
利息及び配当金の受取額	55	659
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△31,310	△23,127
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,683	111,708
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,907	△12,896
有形固定資産の売却による収入	7	15
有形固定資産の解体による支出	△316	—
無形固定資産の取得による支出	△38	△59
長期貸付けによる支出	△1	△31
長期貸付金の回収による収入	21	23
定期預金の増減額 (△は増加)	—	△41,844
その他	△40	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,274	△54,814
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	144	225
配当金の支払額	△31,321	△40,768
非支配株主への配当金の支払額	△73	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,249	△40,617
現金及び現金同等物に係る換算差額	583	△224
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,257	16,052
現金及び現金同等物の期首残高	229,167	184,575
現金及び現金同等物の中間期末残高	222,909	200,627

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益及び包括利益計算書関係)

※ 減損損失

当中間連結会計期間において、当社グループは以下の資産について減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	金額(百万円)
ドイツ国バイエルン州	事業用資産	建物	636

当社グループはキャッシュ・フローを生み出す最小の単位として、関係各社ごとに資産のグルーピングを行っております。また、遊休資産及び処分予定資産については、個別資産ごとにグルーピングを行っております。

当社の連結子会社であるDISCO HI-TEC EUROPE GmbHにおいて、既存の建物を取り壊し、新棟を建設する意思決定を行いました。それに伴い、取り壊し予定の建物について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローが見込めないため、ゼロとしております。